徳島医療福祉専門学校 校長 廣田 茂美 殿

> 徳島医療福祉専門学校 学校関係者評価委員会 委員長 市川 公雄

学校関係者評価委員会報告

令和4年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 市川 公雄 (学園評議員)
- ② 山口 寛 (本校非常勤講師)
- ③ 杉本 祐治 (令和4年度理学療法学科保護者役員)
- ④ 東條 賢 (令和4年度作業療法学科保護者役員)
- ⑤ 岩朝 利雄 (三渓同窓会役員)
- ⑥ 東田 武志 (理学療法 業界団体関係者)
- ⑦ 細川 友和 (作業療法 業界団体関係者)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和4年5月30日(会場 徳島医療福祉専門学校 別館会議室) 第2回委員会 令和5年3月27日(会場 徳島医療福祉専門学校 別館会議室)

3 学校関係者委員会報告 別紙のとおり。

以上

【別紙】

- I 令和4年度重点目標について
- 1. 重点目標①:「設立の理念ならびに教育目標を遵守した教育活動を基軸とし、一層の高みを目指した学校運営を促進する。」について
- ・リハビリテーション医療は、今後ますます必要とされてくると考えられます。
- ・メンタル面に起因する進路変更の背景が複雑だと思いますが、丁寧に対応下さっていると思います。 なかなかカウンセラーのところへ結びつかないとのことですが、引き続きカウンセラーにつながるよ う働きかけをお願いします。
- ・コロナ禍の状況下にあってオンライン授業の実施、臨床実習の中止・中断の縮小化に努めリスクを 回避できたことは評価できる。個別指導の強化やカウンセリングの活用により、成績不良による休退 学者の数を少なくしたことは高く評価できる。
- ・個別指導の強化やカウンセリングの実施に加え、コロナウイルス感染防止対策としてのリモート授 業も開催されていた。
- 2. 重点目標②: 重点目標②: 「新たに算定した第二期中期目標の具現化に向けより実効的な対策を講じる。」について
- ・社会人入試の充実・拡大は大事であると感じました。
- ・入学者の傾向に合わせた寮・スクールバスの運用は適切だと思います。オープンキャンパスについて参加してくださった学生に在学生が前向きな葉書を送る学校もあるようです。
- ・通学域の変化に伴う入寮者の減少に寮の効率化策を講じて対処したことは評価できる。受験者増を 図ることは喫緊の課題であり、進学ガイダンスやオープンキャンパスの盛況を促すためにも非対面型 のプレゼンテーションの工夫が急がれる。
- ・二つある学生寮の運営について鹿背山寮の校有化による効率化が示されている。入学定員の安定化 についてオープンキャンパスの工夫や積極的な県内外の就職ガイダンスに加え、社会人にも門戸を広 げながら国家試験合格率をいかに担保するかが今後の課題と考えられた。
- 3 重点目標③:「教職員のキャリア教育の拡充を図り学生指導等の高質・効率化を更に促進する。」 について
- ・教職員の指導力の向上は、学生の学力向上につながり、国家試験の好結果につながっていくと思います
- ・教員の修士以上の学位取得への取組が計画的に実施されている。教職員の多忙化が進む現状ではあるが、スキルアップの向上に努めていただきたい。
- ・認定、専門療法士や学位取得等、教員のキャリア向上は重要である。取得が目標でなく、そのスキルをいかに教育に反映されるかについての議論も必要ではないかと思う。
- 4 重点目標④:重点目標④:「本校創立30周年記念行事開催に向けた実務を開始する。」について
- ・11月の学校創立30周年記念行事の実施に向けて、具体的実施計画の策定段階に入っている。個性あふれる記念行事になるよう期待している。
- ・是非とも盛大に開催し、新聞、テレビ等のメディアにも取り上げてもらって欲しいと思います。一番の広報の機会だと思います。

1 教育理念・目的・人材育成像について

- ・どんな療法士になれば、担当した患者に感謝してもらえかを考え続けてほしいです。
- ・総合型選抜入試については学力低下が心配されます。また専門職になるという強い意志の確認は必要かと思います。
- ・人間愛に満ちた理学療法士、作業療法士の育成のために専門的知識・技能はもとより、コミュニケーション能力、協調性を養う教育を今後とも推進していただきたい。
- ・高い合格率の実績がある反面、これからの入学者獲得のため総合型選抜入試の導入も考慮すべきと考えられる。その場合、リハビリテーションを生業となすことへの意欲、医療への関心、利他的意欲などをしっかりともった者を入学させるための面接技術が必要と思います。

2 学校運営について

- ・外部からの意見をうまく取り入れながら、運営できていると思います。
- ・方針は理事会、評議員会を通じて民主的に策定され、規則・規定に基づいて組織全体に円滑に浸透 し効率的な学校運営がなされている。
- ・学生寮の統合などの効率化と、それに伴いスクールバス運行の強化をどの程度行うかについて見極めが必要であると感じました。4年生教育の流れについても引き続き情報収集と状況分析が大切と思います。

3 教育活動について

- ・教員のスキルアップは、学生の専門性の向上につながり患者や職場からの信頼に繋がっていくと思われます。
- ・両学科とも指定規則等に基づいた教育課程を編成し、到達目標はシラバスで明示した教育活動を推進している。今後とも成績不良者に対する個別指導や外部講師による特別講義などきめ細やかな指導を継続していただきたい。
- ・学外臨床実習に必要な臨床実習指導者養成について、県理学療法士会、作業療法士会との協力で問題なく実施できといることが確認できました。

4 学修成果について

- ・国家試験の実績、就職率など常に結果を求められる。頑張っている学生を信じて、今の取り組みを 継続してください。
- ・令和3年度の国家試験合格率は不本意な結果となった。学年色もあると思うが、学習習慣の早期定 着化を図るなどきめ細やかな学習指導に努めていただきたい。
- ・就職率、国家試験合格率ともに高く、学習成果が発揮されていると思います。

5 学生支援について

- ・就職した現場からの卒業生への評価が高いのは、すばらしいことだと思います。
- ・求人情報の確実な伝達や個人面談、三者面談、学生相談の実施など個々に応じた支援を行い、就職率の向上に努めている。学生の意識や能力、適性もますます多様化すると思われる。更なるきめ細やかな対応が望まれる。
- ・休退学は他校よりも少ない印象があります。休退学を防止するための早期から個別面談や教職員の 学生に寄り添う姿勢が良い結果につながっていると思います。今後も守ってもらいたい校風ではない

かと思います。

6 教育環境について

- ・収束しつつあるとはいえ、コロナ対応にはまだ気を配ってほしいです。
- ・国の定める規則、ガイドラインに則って教育機器、備品の整備、施設の改善が行われている。
- ・コロナ禍で発展したオンライン授業や講義形態は、山間地の本校にとってハンディキャップを解消するものです。また、都市部と違い娯楽の少ない環境は、学習環境としては強みになります。マイナスをプラスに変え、学生にとって良い教育環境の整備に努め頂きたいと思います。

7 学生の募集と受入れについて

- ・学生を確保することの大変さ、厳しさがよくわかりました。それでも、地道にこれまで通りしつかりと療法士育成に取り組んでいくことが、意欲的な学生の入学につながると思います。
- ・国家試験の受験者数(現役者)、合格率、聴講生制度等、良いところが多くあるので十分 PR してほ しいと思います。
- ・高校生人口の減少やコロナ禍による広報活動の制限が志願者数の低下を招いた。入試説明会や進学説明会、オープンキャンパスの効果拡大を図るとともに、それらに参加する生徒の満足度を高める工夫、対策が急がれる。
- ・少子高齢化は最大のリスクです。どの学校も同じで色々な対応を講じてくると思います。入学数を確保し、良い人材の入学に繋げるために入試出願者の人数を増やしていくのは当然と思います。総合型選抜入試の導入や入学者の早期確定等、戦略的な検討が必要だと感じました。

8 財務について

- ・少子化、それに伴う受験者の減少と大変になってきたなという実感です。財政の運営 や管理が、 大変ですがよろしくお願いします。
- ・令和5年度末を以て、学生寮は二寮体制から一寮体制に効率化が図られ、財務収支の大幅な改善が 見込まれる。入学定員を確実に確保する受験者増を県内外の高校において拡大する取り組みが急務で ある。
- ・学生寮の縮小化と校有化、それに伴うスクールバス料金の設定などについて値上げするのであれば、 そのタイミングが重要と思います。学生やご家族の負担は増えますが、値上げトレンドのある今がそ のチャンスではないかと思います。

9 法令等の遵守について

・関係法令、指定規則に則り、それらの改正にも適切に対応した学園の運営・教育内容を推進できている。

10 社会貢献・地域貢献について

- ・リハリビテーションは、失った機能を取り戻そうとすることだけでなく、新しい能力を生み出すことでもあるというのが、今日のリハリビテーションの考え方である、とどこかで読んだことがあります。 ボランティア活動などで地域の方と関わる中で、そんなリハリビテーションの大切さを浸透させてほしいと思います。
- ・学園の教育資源に期待を寄せる地域社会の人々は多い。中高生のキャリア形成や学園の教育内容を より具体的に理解されることにもつながるので引き続き積極的に推進していただきたい。
- ・学生のボランティア参加や業界団体への参加(学会・活動支援)等、積極的な参加があります。教 員の地域包括ケアへの参加もよいことと思います。

III	特記事項
<u> </u>	